

備前市 事務事業 評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	災害復旧事業		コード	04-01-01-06
			担当課・係	農林水産課 耕地治山係
			担当者	大森 康晴
事業実施期間			電話	0869-64-1830
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	農業		

事業について	
目的 (何のために)	集中豪雨等により被災した農地・農業用施設を復旧し、地域住民の安全の確保と農業経営の安定化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	農業経営者・農業従事者及び被災対象区域住民
内容	田、畑、ため池、農道、用排水路等、被災した農地・農業用施設を復旧し、機能回復を図る。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
3カ年経過したH15.16災害	4.0 箇所	1.0 箇所	
単年で完成した災害	0.0 箇所	8.0 箇所	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	232,125	間接補助金等	181,287	直接事業費	13,209	間接補助金等	10,260
	人件費	11,643	受益者負担	67,921	人件費	6,556	受益者負担	119
	合計	243,768	市債	7,900	合計	19,765	市債	1,000

必要人員	158 人	103 人
結果指標名	3カ年経過したH15.16災害	3カ年経過したH15.16災害
結果指標量	4.0	1.0
単位	箇所	箇所
対前年比		25.00%
活動にかかるコスト	97,468,300 円	7,000,000 円
単位当たりコスト	24,367,075 円	7,000,000 円
結果指標名	単年で完成した災害	単年で完成した災害
結果指標量	0.0	8.0
単位	箇所	箇所
対前年比		0.00%
活動にかかるコスト		6,209,000 円
単位当たりコスト	#DIV/0!	776,125 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	被災施設の早期復旧を目指し、農業生産の安定を図る。		
成果指標名	2カ年以内での復旧率	式又は説明	2カ年以内の完成箇所/発生災害総数 8/8
	17年度	18年度	
成果指標量	99.0%	100.0%	
対前年比	-	101.01%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	発生年度から2年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価 < A ~ E >	B
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: <input type="checkbox"/> 暫定法、激甚法	本事業は従前の機能を回復することを目的とし、農業生産に影響を与えないためにも、早期着手、完了をしなければならない。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	被害額、工種により事業の進捗状況は異なるが、大規模災害になれば、コンサルタント等を利用し、早期着工を行い、2カ年以内の完成を目指す。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	関係庁等の協議資料の作成に精通している団体を活用することで、事業の早期完了を図る。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価 < A ~ E >	B

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明
-----------	--	----

目標値	結果指標量	0	結果指標量	0
	成果指標量		100	

総合評価	本事業は完了の進捗状況によって農業生産に多大な影響を与えるため、早期完了を目標に継続して行なう事業である。	評価区分 < A ~ E >	B
------	---	----------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	工法検討	毎年	早期完了